

市民意見交換会にかかる意見・質問及び回答(令和6年12月末時点)

委員会名:文教常任委員会

番号	委員会等で整理した市民からの意見・質問等	意見・質問等への対応(執行部からの回答内容を含む)
1	<p>学校施設が老朽化する中、大分市教育施設整備保全計画があるものの、日々の修繕をしっかりと行うなど、現存する施設を長く使用できるようにしてほしい。</p>	<p>市教育委員会に確認し、「学校施設の維持管理については、各学校が『施設点検マニュアル』を用いて、適正に日常点検を実施している。点検により修繕が必要な箇所については、学校で対応可能な軽微なものから業者による対応が必要なものであることから、状況に応じた施工方法を検討し迅速に対応している。今後とも、施設を長く使用できるよう、適切な維持管理に努めていきたいと考えている。」との回答を受けました。</p>
2	<p>子ども会やPTAの加入者が減少しているため、改善すべきと考えるが、見解を聞きたい。</p>	<p>市教育委員会から、「コロナ禍以前の活動を再開した団体がある一方で、全体的には加入者の減少傾向が続いており、課題ととらえている。子ども会については、子ども会の意義等を伝えるチラシや、子ども会の運営方法等をまとめた『子ども会活動ハンドブック』などを活用し、子ども会活動の楽しさや意義を全市に発信していくとともに、大分市子ども会育成連絡協議会と、研修会の内容の見直し等について協議している。また、PTAについては、PTA会長研修会等に教育委員会の担当者が出席し情報共有を図るとともに、大分市PTA連合会との協議の場を設け、PTAの現状と課題や今後の学校との協力体制等について意見交換を行うなど、PTAの活性化に向けて、大分市PTA連合会と連携を今後さらに密にして取り組んでいきたいと考えている。」との回答がありました。 本委員会としても、加入者の減少は課題と考えており、今後とも市教育委員会の取組を注視していきます。</p>
3	<p>将来への投資として、小学校の給食費の無償化にも取り組んでほしい。</p>	<p>市教育委員会に確認し、「本市では、食費や学習費等の負担が大きくかかる中学生の子どもがいる子育て世帯の支援のため、市立中学校(義務教育学校の後期課程を含む)に在籍する生徒の給食費を令和5年度3学期給食提供分から無償化している。市立小学校の児童の給食費無償化については、さらなる財源確保が大きな課題となる中で、国が公表した『こども未来戦略方針』において学校給食費の無償化の実現に向けて、調査、課題の整理を行い、具体的方策を検討することから、今後も国の動向を注視しつつ、国へ給食費無償化の実現を求めている。」との回答を受けました。</p>

市民意見交換会にかかる意見・質問及び回答(令和6年12月末時点)

委員会名:文教常任委員会

番号	委員会等で整理した市民からの意見・質問等	意見・質問等への対応(執行部からの回答内容を含む)
4	<p>児童生徒の不登校は放置できない課題と考えるが、今後どのような対策を考えているのか。</p>	<p>市教育委員会から、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策として、『OITA COCOLO PLAN』を令和6年7月に策定し、教職員や家庭へ周知するとともに、不登校の未然防止や児童生徒への支援に努めている。今後は、学びにアクセスできない児童生徒をゼロにすることを目指し、一人1台端末を活用した学習支援やフリースクール等の民間施設との連携等により、多様な学びの場の確保やICTを活用した支援の充実を図る。」との回答がありました。</p> <p>本委員会としても、不登校対策の重要性を認識しており、引き続き市教育委員会の取組を注視していきます。</p>
5	<p>郊外の教育施設を増やすなど、学校教育の環境を充実させてほしい。</p>	<p>市教育委員会に確認し、「児童生徒数の増減には地域特性があり、学校施設の新増設については、短期的ではなく、中長期的な視点での検討が必要になる。このような中、本市においては将来的に児童生徒数の減少が見込まれることから、既存の学校施設の改修等により推計に見合う教室数を確保しながら、様々な状況を総合的に勘案し判断していく。」との回答を受けました。</p>